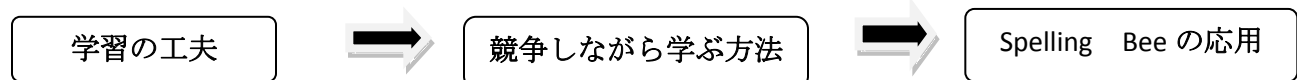


セントルイス日本語教室では【日本語 Bee】という競技を行っています。これは英語の【Spelling Bee】からヒントを得て、日本語教室独自の方法で毎年、夏休み明けに学校大会を開催しています。

生徒がひとりずつ提示された単語を読み上げ、間違えてしまったら敗者となり、最後まで正解を答えられた生徒が優勝者となります。【日本語 Bee】は修得度の試験ではなく、ゲーム感覚で言葉を覚える学習メソッドです。勝敗は、その時の運に左右され、緊張感も伴い、ご家族で楽しめるイベントでもあります。保護者の方のご見学を大いに歓迎いたします。

もともと、苦手意識のある児童・生徒にどのように読み方を修得させるかという課題から発案されたものです。



現地校で行っている英語の Spelling Bee のメソッドを取り入れました。

【Spelling Bee】とはアメリカには8歳から15歳までの少年少女を対象とした、英単語の記憶の優劣を競うコンテストがあります。正式名称をスクリプス・ハワード・ナショナル・スペリング・ビー (The Scripps Howard National Spelling Bee) と言い、およそ80年の歴史と伝統があります。ルールは出題者が、ある単語を挙げ、解答者がそのスペルを答える。一人1ワードずつ出題され、間違えたらその場で失格。そして出題される単語を最後まで間違いなく答え続けた生徒が優勝となります。

【日本語 Bee】においては、スクリーンに映し出された文字を読み解きます。問題が全部、解答された時点で競技が終わり、複数の生徒が残った場合、同位優勝として讃えます。

子供たちは競技開始前の緊張感や、最後まで考え抜く努力も必要です。運が悪かった時の失敗や、勝敗に負けることにも意味があり、それもまた学習の一部だと教えます。時には、うっかりとしたミスで答を間違えてしまい、悔し泣きをする生徒もいますが、そっと見守る子供たちの姿に思いやりの心が感じられます。子供たちは毎日、少しずつ積み重ねた練習の成果、達成感、ゴールに到達した充実感など、言葉では言い表せない体験をしています。

